

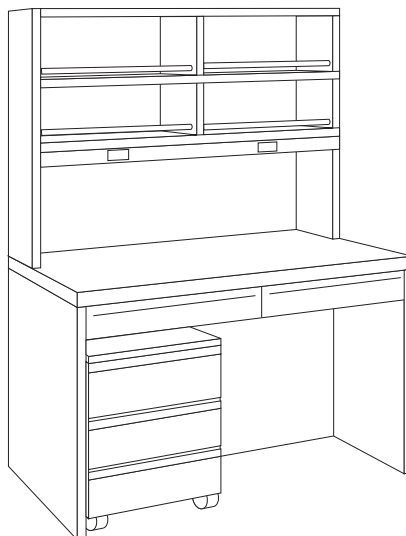
Sサカエ サイド実験台

組立・取扱説明書

このたびは、サイド実験台をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。天面はトレスパ®を使用しており薬品に強くなっております。実験室、研究室で、末永くご使用いただけます。

●1台あたりの最大荷重

均等耐荷重：100kg/台
(実験台・引き出し・架台含む)
10kg/段
(キャビネットワゴン引出し・棚板)



積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
※「均等の耐荷重」とは、天板・棚板の表面、または引出しの中へ均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計量をいいます。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や、他の人への危険や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

- 耐荷重以上の荷物を置かない。
天板傾いたり、曲がったりして危険です。
- 足をかけたり、よじのぼったりしない。
転倒したり、本体が破損したり、足を滑らせて、けがをするおそれがあります。
- 不安定な場所に置かない。
作業台が倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。

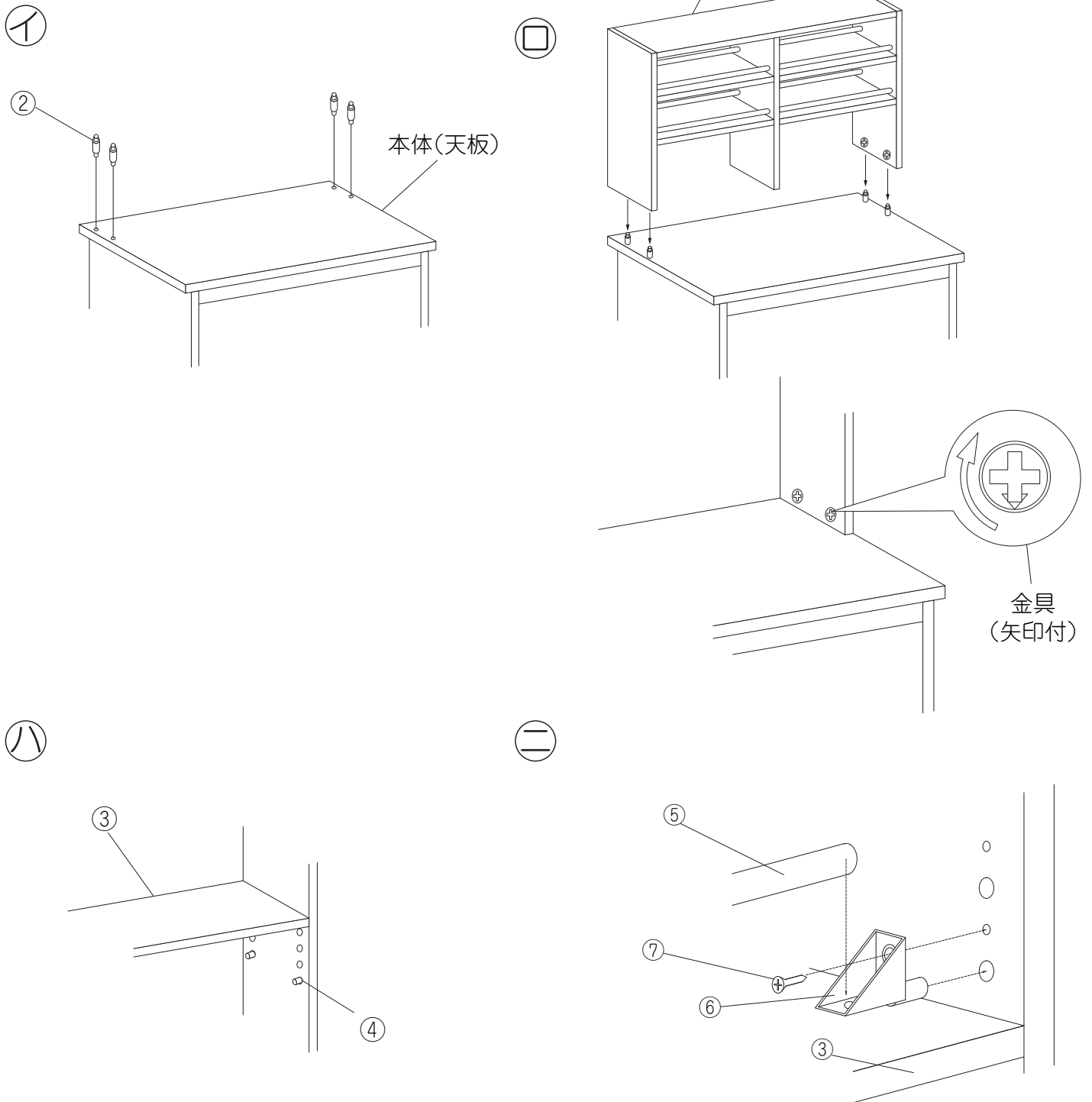


注意

誤った使いかたをすると「損傷または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

- 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。
転倒や転落事故の原因となります。
- 引出しはゆっくりと引いて下さい。
引出しを強く引きますとストップ破損の原因となり抜け落ちる恐れがあります。
- 引出しを引いたまま上から強く押さえたり、重い物を置いたり、踏台として使用しないで下さい。
故障や事故の原因となります。
- 可動部の隙間に指を入れますと、指を挟むおそれがありますので絶対に入れないで下さい。
- この製品を引きずって移動しないで下さい。
床を傷つけたり、本体破損の原因となります。
- 本体と床面等にガタツキがあるときは、アジャスターで調整し、水平の状態で使用して下さい。
- キャビネットワゴンを運搬車の代わりに使用しないで下さい。
- オープン架台のコンセント定格はAC125V・12A・1200Wまでです。それ以下にて使用して下さい。
- この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。
- この製品は、室内又は屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障や表面材の損傷の原因になりますので使用しないで下さい。
- 直射日光の当たるところや温度・湿度の変化が著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
- 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
- キャスターは床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
- 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
- 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。
- 移動時は、作業台が傾かないよう、ゆっくり運ぶ。
荷物が落ちたりして、けがをするおそれがあります。
- 高温になった物を乗せたり、火気の近くに置かない。
やけど、火災の原因になったり、変色、変形の原因になります。
- かたよった収納はしない。
バランスを失って、ワゴンが転倒するおそれがあります。
- 変形・破損したまま使用しない。
転倒・落下により、けがをするおそれがあります。
- 消耗品には寿命があります。
キャスター部や可動部等に異常音等(損耗現象)が発生した場合購入店へご相談下さい。
- 消耗品の交換は購入先を通じて御注文下さい。

<本体とオープン架台の組立て方法>



①本体天板のキャップを外し、コネクティングボルト②をドライバーで取り付けて下さい。

②オープン架台①の底面の穴を先に取り付けたコネクティングボルト②に通して置き、オープン架台内側の金具(矢印付)をドライバーで時計方向へ90°以上止まるまで回して固定して下さい。

③棚板受④をオープン架台①の穴に差し込み、棚板③の切り込み部にはめ込んで下さい。

(棚板はオープン架台1台につき2枚セットします)

④棚ガード受⑥を棚板③の上に差し込み、タッピングネジ⑦で固定し、棚ガード⑤をはめ込んで下さい。

●架台部 部品明細

番号	品名	数量
1	オープン架台	1
2	コネクティングボルト(M6)	4
3	棚板	2
4	棚板受	8
5	棚ガード	8
6	棚ガード受	16
7	タッピングネジ(皿頭)	16